

根室産水産物輸出プロジェクト —競争力強化に向けて—

2013年8月

根室市長 長谷川俊輔

根室市の人口推移



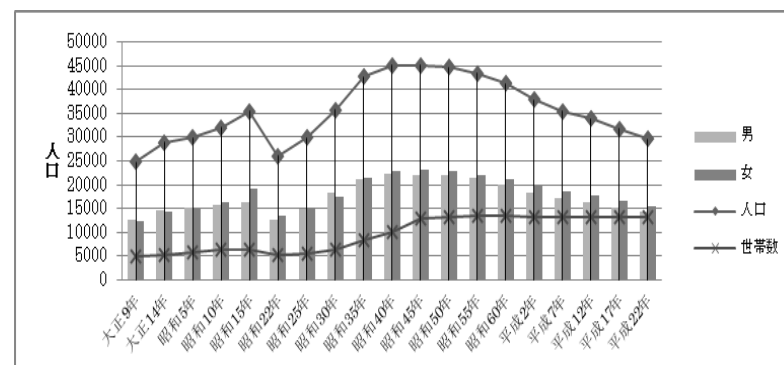
2

(単位:人)

総人口	2010年	2020年(推計)	比較増減	高齢化率
日本	128,057,000	124,100,000	△3.09	23.10%
根室市	29,105	25,020	△14.03	24.40%

《人口減・高齢化による影響》

- 労働力の流出による都市と地方の経済格差の拡大
- 福祉等のコミュニティ機能の衰退
- 国内市場の縮小傾向
- 伝統文化等、地方の個性喪失
- 森林、漁場の荒廃等
- 一次産業の衰退、担い手不足



根室市の総人口および世帯数の推移: 国勢調査、住民基本台帳

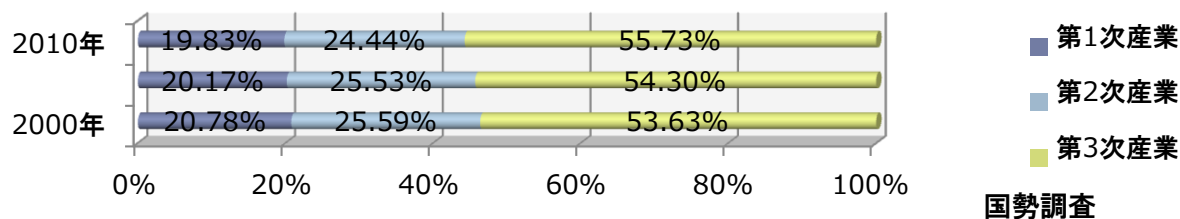
水産都市・根室の産業構造



3

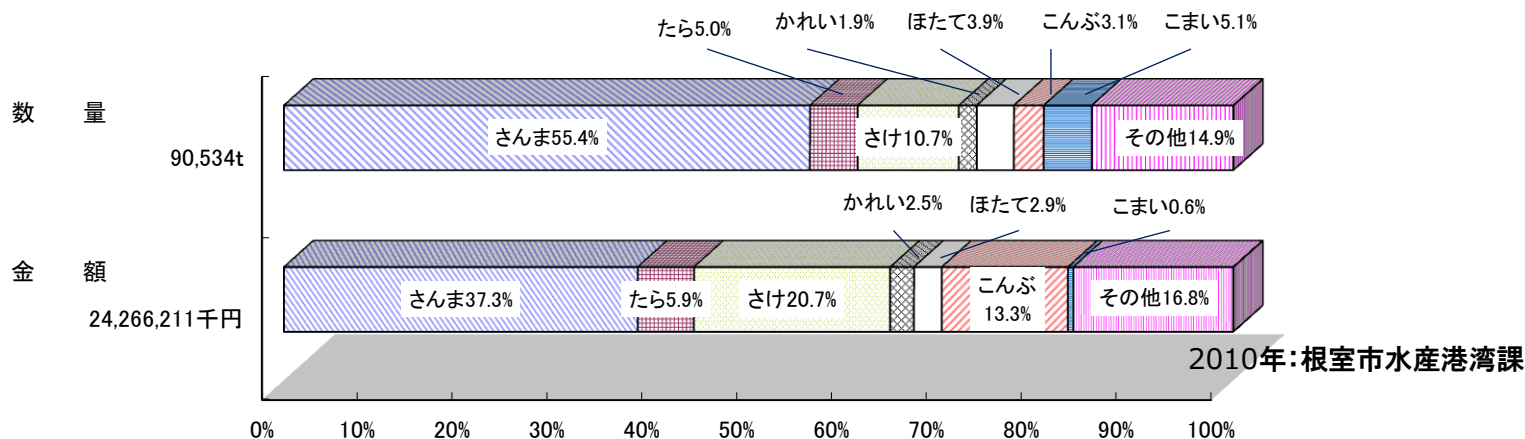
- 産業別就業人口構成

1次産業19.8%、うち漁業17.1% 2次産業(24.4%、うち水産加工18.3%)

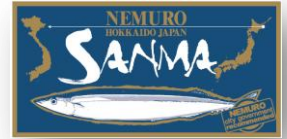


- 魚種別生産高(数量全国4位、金額で全国5位)

サンマは数量で5割以上、金額でも約4割を占め、日本一水揚げ

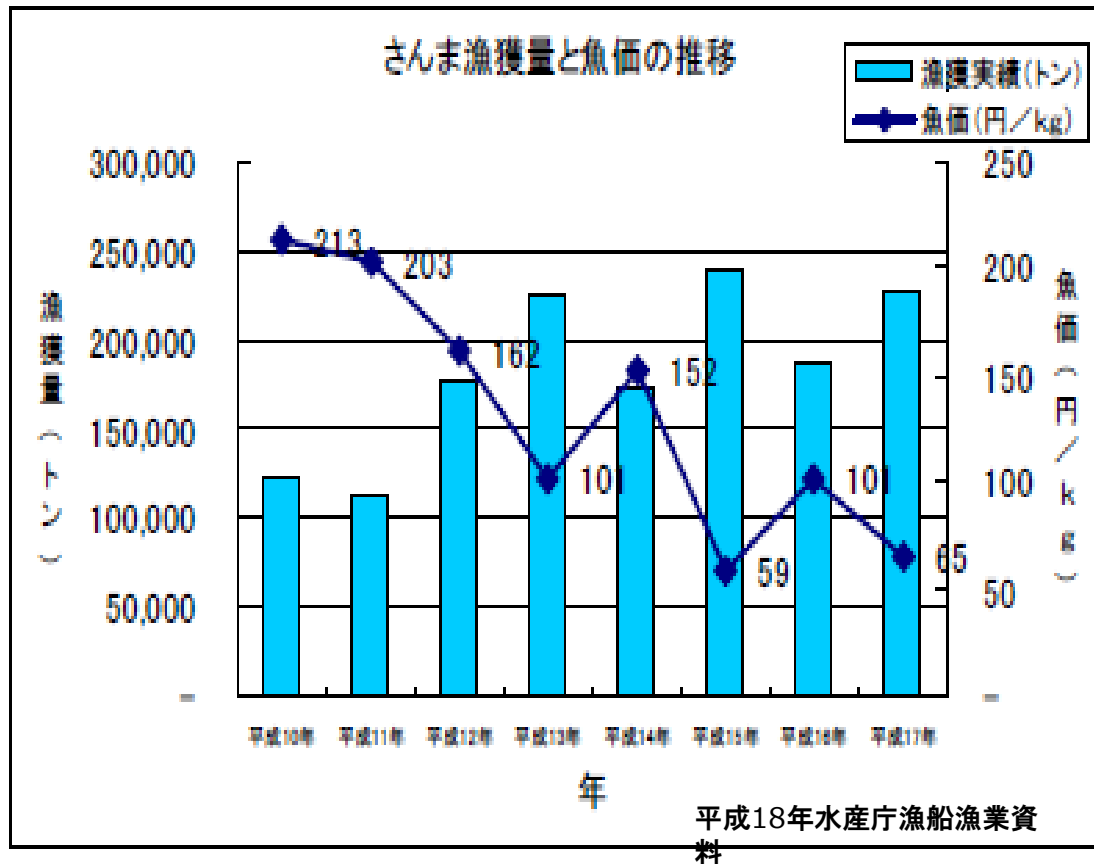


魚価の低迷と危機感



4

■ 漁獲量と魚価



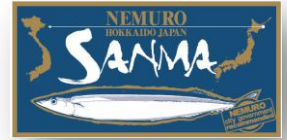
- 全国的な漁獲量の増
- 消費者の魚離れ

魚価の低迷

漁業者 水産加工企業

国内では高値がつかない小型サンマに、新たな販路を確立したい

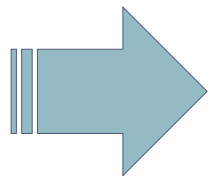
自前の国際ビジネスを提起



5

- 国内市場 …… 少子高齢化による食品摂取量の減少
- アジア諸国 …… **旺盛な消費意欲**、日本食ブーム

2010年3月、行政側から民間企業へ、ベトナムに向けて根室市の高品質で安全な**水産物等の輸出**を足掛かりに、地域振興の方向性を提起。



同年5月、官民が一体となった取組みを推進するために、『根室市アジア圏輸出促進協議会』を設立。

輸出先国の概要



6

国名 : ベトナム社会主義共和国

人口 : **9,000万人**(都市部3割、地方部7割)

面積 : 33万km²(南北に1,650Km)

(日本38万km²、九州を除いた面積に相当)

民族 : キン族(約86%、他に53の少数民族)

宗教 : **仏教**、カトリックほか

言語 : ベトナム語

政治体制 : 社会主義共和国(唯一の合法政党: 共産党)

気候 : 熱帯性気候(南部)、亜熱帯性気候(北部)

行政 : 58省、5直轄都市(**ハノイ**、**ホーチミン**、ダナン、ハイフォン、カントー)





親日的、良好な政治関係

7

- ベトナム人は、**勤勉**で向上心が強く、知的レベルも高い
- 経済的な豊かさを追求し、活気にあふれる
- **親日的**で社会習慣も日本と類似点が多い。
(好感度の高い国は、米国、韓国、**日本**)

1975年 サイゴン陥落(ベトナム戦争終結)

1986年 ドイモイ(刷新)政策開始(計画経済から市場経済へ)

1995年 ASEAN加盟、2000年-高度成長軌道へ

2009年 日越経済連携協定(EPA)締結

2013年 「日本・ベトナム友好年」(日越外交樹立40周年)

日越『戦略的パートナーシップ』の強化

日本のサンマ輸出数量の推移



8

国名 (国別上位5カ国)		2005年 (平成17年)	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)
ロシア	数量 (t)	8	430	3,028	7,028	26,396	50,649
	金額(千円)	682	39,902	267,778	646,693	1,869,465	4,088,545
	単価 (円)	85	93	88	92	71	81
韓国	数量 (t)	896	8,769	9,717	7,143	15,962	2,140
	金額(千円)	47,142	704,705	794,912	523,783	896,723	140,128
	単価 (円)	53	80	82	73	56	65
タイ	数量 (t)	312	4,382	7,043	20,803	12,323	497
	金額(千円)	21,343	242,628	469,797	1,345,534	598,182	32,887
	単価 (円)	68	55	67	65	49	66
中国	数量 (t)	4,438	4,833	7,048	8,580	8,559	4,418
	金額(千円)	369,417	426,919	800,639	758,755	646,086	529,827
	単価 (円)	83	88	114	88	75	120
ベトナム	数量 (t)	92	84	284	4,808	5,258	733
	金額(千円)	10,714	13,534	32,415	491,990	434,041	76,975
	単価 (円)	116	161	67	102	83	105
その他	数量 (t)	8,579	7,706	5,815	8,731	6,938	1,945
	金額(千円)	625,951	568,364	594,247	840,658	523,834	263,655
	単価 (円)	73	74	102	96	76	136
合計	数量 (t)	14,325	26,204	32,935	57,093	75,436	60,382
	金額(千円)	1,075,249	1,996,052	2,959,788	4,607,413	4,968,331	5,132,017
	単価 (円)	75	76	90	81	66	85

最初の一歩 一人を繋ぐ



2010年4月

- 荒川氏(元商社)の支援を受け、**ベトナム計画投資大臣**の来日に合わせて、水産企業とともに根室産サンマの塩焼きを振る舞いトップセールス。
- 官民で、サンマ輸出などの経済交流の実現について要請。

2010年5月

- 根室商工会議所、根室・歯舞・落石・根室湾中部漁業協同組合、根室水産協会、根室市で「**根室市アジア圏輸出促進協議会**」を設立。(会長:根室市長)
- 荒川氏がアドバイザーに就任。



2010年10月

- ベトナム農村開発省の水産総局副局長を団長とするベトナム政府代表団10人が根室市入り。
- 根室市をはじめ、産業団体と交流。
- 行政側の協力関係を確認。

2010年10月

- ベトナム商社のバイヤー等が根室市入りし、**根室産冷凍サンマ等をテスト輸出することで合意。**

産業経済界にベトナムを紹介



2011年1月

- 根室市長を団長に、市内の漁業生産者や水産加工事業者等で構成する、**経済ミッションをハノイ・ホーチミンの両市に派遣。**
- ベトナム計画投資大臣や農業農村開発省副大臣と懇談。水産物の輸出入や人材育成等、「**互恵関係**」の強化を確認。

2011年4月

- ベトナム市場向け**根室産サンマ等22トンのテスト輸出**を実施。
- 福島第1原発事故の影響を受けたが、全国に先駆けて放射能検査の実施し、安全性を証明しテスト輸出を実現。
(ベトナム政府と根室市の**行政側の対応で早期に問題解決**)

優秀なベトナム人を起用



2011年5月

- 行政側で、ベトナム向け輸出用ブランドマークを策定し、同年6月にはベトナム、日本の両国で商標登録を出願。
- 早い段階から根室産サンマのブランド化とその保護を目指し、行政としての積極支援を展開。

2011年6月

- 根室市はハノイ出身女性を「**海外市場調査支援員**」として採用。
(現在、勤務して2年経過)
- 根室市内中小企業に対し、ベトナム企業とのマッチングや、貿易実務、通訳・翻訳等の支援を行う。

ベトナム商工会議所との連携



13



2011年8月

- ベトナム商工会議所と連携し、同会議所幹部や会員企業を根室市に招聘。
- ベトナム商工会議所が北海道へ公式ミッションを派遣するのは初めて。



2011年11月以降

- サンマ、秋サケ等、計138トンがホーチミン・ハノイ両市の企業に向けて順次出荷。
- 東日本大震災による放射能問題や円高などの中、一定量の本格輸出が開始。

外食産業へのアプローチを開始



14



2011年12月

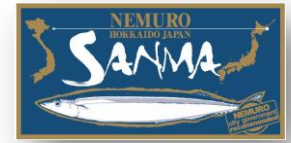
- ハノイ市の外食店や、スーパーに向けて、**根室産マダラ**や加工食品など、高価な水産物、約16トンを出荷。
- しっかりした消流を築いた上で、外食産業へのアプローチを開始し、同時に商品開発も行う。



2012年1月

- 外食産業へのアプローチを視野に入れ、ホーチミン市に向け**小口商品**の空輸による**輸送試験**を実施。
- 日本食料理店などの外食業界向けの**刺身用サンマ**など数百キロ単位を空輸し、品質や輸送コストを評価。

富裕層へのアプローチ



15



2012年2月

- ハノイ・ホーチミンの両市で、富裕層をターゲットに市場開拓調査の実施など、**「根室さんま祭り」のキャッチフレーズで海外販売促進活動**を開始。市長を先頭に官民が連携してトップセールスを展開。
- 現在まで約2万3千人に対し根室産サンマ刺身、握り寿司、塩焼きを提供しPR。
[PR会場:ホーチミン市内日本食料理店6店舗、ハノイ中心街1ヶ所]

直接貿易、独自の販路開拓



16



2012年3月

- JETROの支援を受け、「貿易実務講座」を開催し、輸出プロジェクトを企画・実行するための人材育成の取組みを展開。
- 商社を通さない、**直接貿易への拘り**。
- 中小企業の担当者などが熱心に受講。
 - ・開講期間 2011年3月～2012年3月
 - ・通算 5回(延べ107人受講)



2012年4月

- ハノイ市で富裕層をターゲットに「**根室産水産物フェア**」を実施し、独自の販路開拓を展開。
- サンマ塩焼き、マダラ汁、生干しコマイ等の試食会や、イクラ、開きサンマ等の加工品の即売会を開催しPR。

日越友好40周年を迎え



17



2012年6月

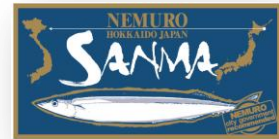
- ベトナム政府との合意に基づき、技能研修生の**監理団体を設立**。(根室商工会議所)
- **ベトナム人研修生**16名を根室市内の水産加工場で受入。
・現在、計38名受入(3事業所)



2013年2月

- 日越40周年を記念し、**在ベトナム日本国全権大使の支援**を受け、同公邸においてベトナム商工会議所会頭ほか会員等60名と人脈づくり。
- 港湾・水産都市ダナン市の人民委員会を訪問し、トップセールスを展開。

プロジェクト、3年が経過



5ヶ年計画の目標	達成状況	摘要
① 国内市場の縮小に対する危機感の共有	達成	2010年
② 輸出に取り組む意欲はあるが、経験とノウハウの不足	ほぼ達成	2011、2012年
③ 散発的な輸出の状態から脱却し、安定化	—	2013年～



現在、散発的な輸出の状態から脱却し、
安定化を目指して「拡大期」に移行

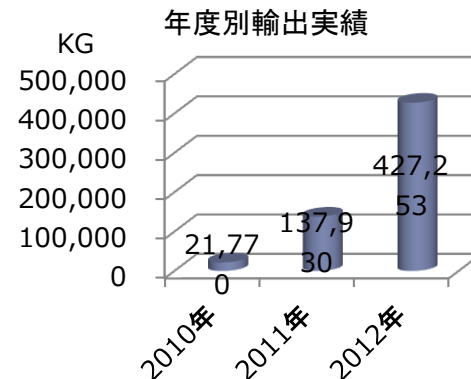
《3年間の成果》

①輸出実績 …… まだ不十分(徐々に拡大、21トン、138トン、428トン)
ベトナム、シンガポール、香港

②商品開発 …… 小型サンマの新たな販路開拓

③輸出先の拡大 …… **ベトナムに専念、太いパイプに育てる**

自然と他国からのオファーがあるため、ベトナム経由で拡大



“根室方式”－取組みのポイント－



19

- 官民一体の取組みにベトナム側は**安心感**
- 人間的なふれあいが上手くマッチング
- 顔の見える関係、まず①**現地バイヤーと関係構築**、
その後に②**消費者向けPR**を展開し
現在は③**マスコミ向けPR**実施中
- 徹底した**直接貿易**への拘り



“根室方式” — 価格競争の課題 —



20

海外での販路拡大において、販売価格が大きな課題である
と考える人が多い、しかし……。

- 買いたい人が「**何時でも、何処でも買える**ようにする事」が重要
- この価格で「販売してほしい」との気構え
- 単なる一時的な**物産展**では市場は開かない





“根室方式” — 環境整備 —

□ 環境整備に向けてアドバイザー等の設置

(元商社マン、JETROなど)

- ① ベトナム側の対応が早いので、早急にビジネス体制の整備
- ② 「地域商社」という推進体制
- ③ ベトナム人の採用
- ④ 地元の金融機関を通じて国際取引に関する研修の充実



地域商社つくり 自ら貿易実務を

根室 サンマ輸出でセミナー

【根室】ベトナムへの根室産サンマ輸出をテーマにした海外ビジネスセミナー(根室市、大地みらい信金など主催)が11日、市内で開かれた。輸出プロジェクトを支援する北方領土問題対策協会の荒川研専務理事が既存の商社に頼らず「地域商社」を設立し取引することを強調した。

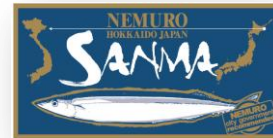
冒頭、釧路港を4月25日に出た冷凍サンマなどの輸出品第1陣が2年目を迎えたベトナムへの水産物輸出について講演する荒川さん

7日ホーチミン市の港に到着、輸入手続き中であることが報告された。

元商社マンでベトナム勤務が長かった荒川さんは昨年4月に始動した輸出プロジェクトが1年で成果を挙げたことについて、「官民一体でベトナム政府に直接訴えたことが成功の理由。この『根室方式』には白糠町や留萌市などが興味を持っており」と話した。

現在ベトナムの6社から根室の水産物の引き合いがあるため、荒川さんは「英語とベトナム語に精通した人材を早急に置くべきだ」と指摘。経費がかかる商社を通さず「地域商社をつくって貿易実務を自ら行い、根室ブランドを売り込んで」とアドバイスしていた。(栗田直樹)

“根室方式” — 地域商社の狙い —



22

□ 経済交流の窓口としての「地域商社」

- 大手商社は、大きな利益なしではビジネスから撤退
- 地域全体で「商社機能」を持ち、地域にノウハウ蓄積
- “根室ブランド”の国際化を視野に、直接貿易の促進



- 意思決定の迅速化
- 都市部に頼らない
- 中小企業の人材育成

(了)